



# 第39回玉川公園水仙まつり ロードレース大会が開催されます!!

(男女同時スタート)



順番	種別	距離	発送予定時刻
1	小学生1年	2km	9時30分
2	一般40歳未満	10km	9時50分
3	一般40歳以上	10km	9時50分
4	小学生2年	2km	10時00分
5	オープン種目 *全選手同時スタート	1・2・5 km	10時05分
6	小学生3年	2km	10時20分
7	小学生4年	2km	10時40分
8	中学生	3km	11時00分
9	小学生5年	3km	11時20分
9	小学生6年	3km	11時40分

- 日 時 / 5月8日 (日)  
開会式: 午前9時10分  
スタート: 午前9時30分 (小雨決行)
- 会 場 / せたな町立玉川小学校グラウンド
- コース / 玉川小学校グラウンド → 旭峠方面折り返し

★ロードレース大会を安全に運営するため、走路での応援は遠慮願います。

※申込人数により発走順が変更になることがあります。

■問い合わせ先  
水仙まつりロードレース大会実行委員会  
(せたな町教育委員会生涯学習課内 ☎0137-84-5117)

## B&G海洋センター艇庫

### 5月1日オープン!!

- 艇 庫  
開館期間: 5月1日～9月30日  
休館日等: 毎週月曜日  
\*気象・海面状況により臨時休館する場合があります。  
利用時間: 午前10時～12時  
午後1時～4時  
\*学校授業使用時は、一般の方はご利用できない場合があります。

問い合わせ先  
■海洋センター艇庫事務室 ☎0137-87-2388  
■教育委員会瀬棚教育事務所 ☎0137-87-3322

▼「おかあさん!おかあさん!」と、海に向かって叫び続ける女の子。唇をかみしめ、無言でペットボトルを運ぶ男の子。その痛々しい姿に胸が熱くなる。

▼春の気が漂い始めた3月11日午後2時46分、M9という巨大地震と大津波が東日本を襲った。すさまじい地殻変動は地底を揺り動かし、黒い波は全てを飲み込んだ。いくつものマチが消え、陸地がなくなった。壊滅的な映像が流れる。平和な日々と家族を奪った爪痕は悪夢か。一瞬の判断が生死を分けた。犠牲者は何万人になるのか。

▼さらに、絶対大丈夫だったはずの「原発安全神話」の崩壊。目に見えない放射性物質の汚染。被曝の恐怖が人々を襲う。空気や水道水、そして土壌や海水からも放射線が…。「レベル7」の原発事故はいつ収束するのか。

▼町役場の移転、全町避難という、かつて聞いたこともない状況。避難区域では「息子が見つかるまでは動かない」という父親。避難所では「この先、どうやって生きていけば…」との声。そんな中、新しい命の産声が。むじやきな赤ん坊の笑顔が希望の光に。

▼どん底の中でも、人々は助け合い、励まし合って前を向こうとしていく。親を亡くし、友を失った子どもたちも懸命に生きる。私たちにできることは何か、しなければならぬことは何か。

▼人は悲しみを乗り越えて生きていく。涙をこらえて女の子が語る「ひとりであるが辛くないけど、みんなといると笑顔になれる」と。

「がんばれ!東北!大地と海と、みんなの笑顔に戻るまで。」  
「がんばろう!日本!」





## 郷土資料館の利用について

せたな町瀬棚郷土館が5月1日（日）から10月31日（月）までオープンします。

### ●観覧料

- 高校生以上 300円／1人（10人以上の団体240円／1人）
- 中学生以下 150円／1人（10人以上の団体120円／1人）

### ●開館時間

- 午前10時から午後5時まで（休館日/月曜日）

### ●有料観覧料

- 萩野吟子小冊子 1,000円
- 瀬棚町史年表 550円
- 瀬棚昔をたずねて 200円
- 絵はがき 300円

### ●問い合わせ

- 瀬棚郷土館 ■ 0137-87-3205 / 瀬棚教育事務所 電話 0137-87-3322



利用方法について

## 瀬棚区夕陽が丘パークゴルフ場 4月1日（金）オープンしました！

●使用料／無料（休憩所に備え付けの受付名簿に氏名等を記入してください）

●利用時間／時間制限はありません。

●トイレの使用／クリーンセンター内のトイレを使用してください。

\*使用時間：午前9時から午後5時まで

●用具の貸出し／

用具の貸出しを希望される場合は、事前に瀬棚教育事務所へ申込みしてください。

【問い合わせ先】

■瀬棚教育事務所 担当：小川

■0137-87-3322

## ブックスタート事業が始まりました！！

4月14日（木）せたな町健康センターにおいて、当町で初めての取り組みとなる、ブックスタート事業が行われました。

乳幼児健診に来られた3・4カ月児を対象に実施され、ボランティアさんが絵本を介して、お母さんや赤ちゃんとのふれあいを深め、赤ちゃんはじっと絵本を見つめながら手足を動かして興味を示していました。帰りに、赤ちゃんとその保護者の方に絵本の入ったブックスタートパックがプレゼントされました。ブックスタート事業は、乳幼児健診に合わせて毎月行われる予定です。

■ブックスタート事業とは・・・親子のコミュニケーションを深めることや、言葉や心の成長を促すことを応援するために保護者が読み聞かせを行うための絵本をプレゼントするものです。

